

2014 JCF J1 白馬マウンテンバイク大会（第5戦） レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

+++++

大会名：2014 JCF J1 白馬マウンテンバイク大会（XCO #5）

期日：2014年9月21日（日）

会場：長野県北安曇郡白馬村 / 白馬スノーハープ

天気/気温：快晴 /24℃

競技種目：男子エリート 4.8km x 7Laps = 21.0 km

参加数：73名

結果：3位

Web：<http://hakubamtb.com/>

+++++

今シーズンも後半戦に突入し、Jシリーズ第5戦の舞台は長野県白馬村。レース会場の白馬スノーハープはXCスキー選手時代に何度も訪れていた思い出の地。2年ぶりにここスノーハープでJシリーズが開催されることは自分にとって特別な思いがある。レース会場から一望できる北アルプスの山々は少しずつ紅葉が始まり秋真っ盛り。この時期の白馬は本当に素晴らしく気持ちがいい。レース2日前に白馬入りし、その日の夕方に1時間半のロードワークで汗を流した。翌日、午前中はゆっくりと過ごし、午後から会場入りしコース試走。走り慣れたスノーハープのコースも地元の方々のご尽力のお蔭で素晴らしいコースに一新されている。シーズンも後半戦に入り、慢性的な疲労感はあるものの、今自分が出来る最大限の準備と調整をして来た。久しぶりの国内レース、久しぶりのスノーハープ。心に余裕を持ち、レースを楽しもうと決めレース当日を迎える。

男子エリートのスタートは14時。この日は快晴の秋晴れで暑いくらい。タイヤ選択は迷わずにスリック系のドライタイ



ヤをチョイス。ケミカル類は絶対の信頼を寄せるホルメンコール。バイクフレームにはスポーツポリッシュとアクアスピードでナノコーティング。ホイール・スプロケットはダートプロテクター、チェーンにはルーベエクストリームとルーベンスピードを注入。サングラスのレンズにはノーフォグ。これでいつものルーティン、ナノコーティングの完成。メカニックが機材の最終チェックを行い、ステージングボックスで招集を待つ。この1年間のシーズンで築き上げてきたチームスタッフやサプライヤーの皆さんとの信頼関係があるから最善の状態ですスタートラインに立てる。

集中力を高め、静まる会場に号砲が鳴り響く。完璧な反応でスタートダッシュが決まった。1周目の前半を4名のパックで進んでいく。序盤からハイスピードの展開で牽制する気配などはまるでない。1周目をチームメイトの平野選手と自分、MERIDA チームの小野寺選手と恩田選手の4名がパックとなり先行する。2周目からは平野選手と小野寺選手が交代で先頭を引っ張り、じわじわと差を広げられてしまう……。焦らず冷静にその差を詰めようとプッシュするものの、思いの外差が縮まらない。3周目に入りパックで走っていた恩田選手が遅れ始め単独での追走。ここでトップから離れてしまうとキツイ状況になってしまう。4～6周目は25～30秒程の差のまま推移。平坦区間が多い今回のコースは単独で走るよりパックで走った方がペースを維持出来る。苦しい展開が続くが諦める訳にはいかない。しかし、調子が良い時の周りをしっかりと見る余裕と冷静さを欠いている……。苦しい。苦しいけど前を追わないと勝てない。地元の友人、スキー仲間の声援が力になる。まだ諦める訳にはいかない。ライバルたちの動きは自分の努力や判断でどうこうできるものではない。だからこそ自分は自分にできることに全力を尽くすのみ。



トップから約30秒遅れでいよいよファイナルラップへ。まだ応援してくれる皆は諦めていない。もちろんチームスタッフも。自分も……。苦しい場面が何度も何度も訪れるが、歯を食いしばりプッシュし続ける。後半周でレースが終わる……。という弱気な思いと、勝たなければ……。という強気な自分が交差する。現状での気力と体力、すべてを使い果たし3位でフィニッシュ。

昨シーズンから続いたJシリーズの連勝記録も8勝で途切れてしまった。しかし、チームメイトの平野選手が久しぶりの優勝で素直に嬉しく思えた。残念ながら連勝記録はストップしてしまっただが、負けたことで少し肩の荷が下りたのもまた事実。そして気持ち的にも吹っ切れた。海

外遠征を通して経験した貴重な時間。まだまだレースでの課題は多いが、自分のイメージする理想のカタチを表現していきたい。

次戦の J シリーズ第 6 戦の富士見パノラマ大会はマレーシア・ランカウイのステージレースに出場するため欠場する予定。10 月 26 日のシリーズ最終戦（石川県白山一里野）では優勝し、シリーズ 3 連覇を決めたいと思う。

チームスタッフを始めとする、多くのスポンサー様方、サプライヤー様、家族、友人、ファンの方々、たくさんの方々に支えられ競技に専念することが出来ています。皆さまの期待にしっかりと応えられるよう残りのレースも頑張りたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

【リザルト】

- 1.平野星矢 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
- 2.小野寺健 北海道/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
- 3.斉藤 亮 長野県/ BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM
- 4.恩田祐一 長野県/ MIYATA-MERIDA BIKING TEAM
- 5.門田基志 愛媛県/ TEAM GIANT
- 6.中原義貴 大阪府/ Cannondale

【使用機材】

バイク：ANCHOR / XR9

コンポーネンツ：SHIMANO / XTR FC-M985

ホイール：SHIMANO / XTR-WH-M9000-TL

シューズ：SHIMANO / SH-XC90

ペダル：SHIMANO / PD-M980

ハンドル：SHIMANO PRO / XCR

ステム：SHIMANO PRO / XCR

シートポスト：SHIMANO PRO / XCR

フロントフォーク：SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ：SCHWALBE / THUNDER BURT (27.5×2.1)

サドル：fi'zi:k / TUNDRA

ヘルメット：KABUTO / ゼナード(アンカースペシャルモデル)

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル：HOLMENKOL

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード

クリーナー：ライニガー、スポーツクリーン、バイクウォッシュ、クリーナー8in1

ウェア、シューズ：ハイテックプルーフ

サングラス：ノーフォグ

時計：SUUNTO / AMBIT2S

メーター：パワータップ G3 プロ MTB ハブ / ジュール GPS

ネックレス：SEV

ドリンク：SAVAS（株式会社明治）

サプリメント：SAVAS（株式会社明治）

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

ザック：deuter

テーピング：New-HALE

